

# 八丈島

## 水産だより

12月号  
2020年



ひき縄漁業操業風景



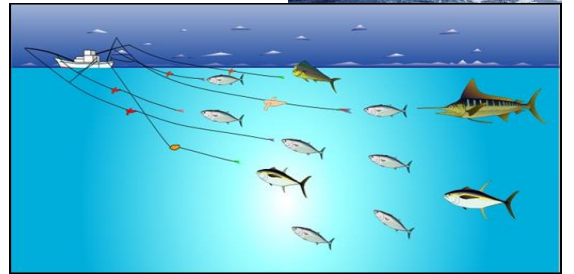
夕暮れの神湊漁港

秋晴れが続いていた八丈島ですが、夕方の日の短さを見ると、冬へと季節が移り替わっていく感じが感じられます。12月下旬には、一年で最も日照時間が短くなる「冬至」があります。東京では、冬至の日は、夏至の日（最も日照時間が長い日）と比べて5時間近くも日照時間が短くなります。季節の変わり目で体調を崩しやすい時期ですが、冬至の文化である、かぼちゃの煮つけや柚子風呂などを満喫しながら、健康に過ごしましょう！

### ■ 最近の漁模様

11月下旬に今期のくろまぐろの操業が始まりました。八丈島では、漁船を走らせ、釣り糸の先につけた疑似餌を動かすことで魚を獲る「ひき縄」と呼ばれる漁法でくろまぐろを漁獲します。昨期の漁獲が好調だったため、今期の漁獲にも注目が集まります。ひき縄漁業では、くろまぐろのほかにも、キハダなども漁獲されるため、こちらも併せて期待しましょう！

ひき縄漁業  
→ 漁獲の様子  
↓ 図解



### ■ 大きくなると別の名前に？～出世魚について～

カンパチの呼び名(関東地方)

体長(目安)	名前
～35cm	シヨツコ
35cm～60cm	シオゴ(シヨゴ)
60cm～80cm	アカハナ
80cm～	カンパチ



←カンパチ

今回は魚の成長に従って名前(呼び名)が変わる「出世魚」を紹介します。「出世魚」と呼ばれるのは、江戸時代に、人々が出世をした際などに名前を変える習慣があったことに由来しています。八丈島で獲れる出世魚としては、カンパチが挙げられます。表のように、カンパチはその成長過程で何度も名前が変わっています。食卓にあがることの多いブリなども有名な出世魚なので、成長するまでの名前の変化を調べてみると、面白いかもしれません。